

令和5年次北九州市観光動態調査概要

【北九州市観光動態調査とは】

- 1～12月の観光客の動向を、観光庁が定めた基準に基づき、毎年調査・推計の上、公表するもの。

【令和5年の特徴】

- 観光客全体の延べ人数、宿泊客・日帰り客の実人数すべての項目で、コロナ禍前の水準にほぼ戻った（コロナ禍前（R1年次）と比較して、延べ人数は約92%、宿泊客、日帰り客は約96%）。
- 対前年比では、観光客延べ人数、宿泊客実人数、観光消費額について増加した。一方で、日帰り客実人数は減少した。
これは、市内客の減少が主因であり、コロナ禍以降、大きなトレンドになっていたマイクロツーリズム（近隣観光）の流れが一段落したことが影響していると考えている。
- 観光消費額増加の主な要因は、一人あたりの観光消費額の単価が、令和4年に比べ日帰りで424円、宿泊で1,159円増加したことに加え、消費額単価の高い宿泊客実人数の増加によるものである。

【調査結果】 ※詳細は添付のグラフデータをご確認ください。

◇ 観光客数（延べ人数）

2,222.2万人 前年比 +24.5% (+436.8万人)

◇ 観光地点における観光客数（実人数）

996.0万人 前年比 -11.0% (-123.1万人)

◇ 観光消費額

1,004.1億円 前年比 +21.4% (+176.8億円)

◇ 観光消費額単価

観光消費額単価

	R4年次	R5年次	前年差
日帰り	3,277円	3,701円	+424円
宿泊	22,679円	23,838円	+1,159円

◇ 外国人観光客数

26.9万人 前年比 +647.2% (+23.3万人)

◇ 産業観光客数

28.6万人 前年比 +45.2% (+8.9万人)

◇ 修学旅行生数

6.4万人 前年比 -17.9% (-1.4万人)